



## 掃海艦「つしま」による艦艇広報を実施 ～ 掃海艦「つしま」最後の艦艇広報～

東京地本は、平成28年5月13日から15日までの間、7月1日付で除籍予定である掃海艦「つしま」（艦長 増澤寛治2等海佐）による艦艇広報を実施した。

13日は、横須賀から晴海埠頭への回航を活用して体験航海を実施し、透きとおる快晴の中、69名が東京湾のクルージングを満喫した。出港直後に米空母ロナルドレーガンと近距離ですれ違ふ等、参加者は通常のクルージングとは異なる体験を楽しんでいるようだった。

14・15日の間は、東京港晴海埠頭において開催された「東京みなと祭」に参加し、装備品展示、広報ブースの設置及び艦艇の一般公開を実施した。

東京みなと祭は、東京港が国際貿易港として開港したことを記念して行われるイベントで、両日合わせて約80,000人が訪れた。



最後の体験航海に出港する掃海艦「つしま」



夜間に実施された電灯艦飾



人気を博した偵察警戒車



掃海艦「つしま」一般公開の長蛇の列



掃海艦「つしま」を見送る来場者

装備品展示では、第一師団の支援を受け指揮通信車、軽装甲機動車、偵察用オートバイ、高機動車、偵察警戒車、救急車を展示した。特に、偵察警戒車砲頭部分の旋回は、来場者の人気を集めていた。広報ブースでは、自衛隊の広報DVDの放映、南極の氷の展示、防弾チョッキ・制服等の試着、関東・東北豪雨等の活動写真パネルの展示を実施した。写真を見た来場者からは「様々な災害活動等で頑張ってくれている自衛隊には、本当に感謝しています。」といった声が聞かれた。

艦艇の一般公開には、両日とも長蛇の列ができ、延べ4,107人が乗艦した。長時間並ぶ来場者に対して、「つしま」の隊員による、らっぱの吹奏や手旗信号が披露され、来場者の疲れを癒していた。最後の一般公開となる「つしま」の装備等を、興味深く見学する姿が多く見られた。

また、1日艦長として、14日は声優等で幅広く活躍中の杜野まこさん、15日はドラマ・CM等で幅広く活動中の濱田准さんがそれぞれ任命され、イベントに華を添えた。一般公開終了後、掃海艦「つしま」が出港する際には、岸壁一杯に来場者が集まり、最後の航海となる「つしま」を盛大に見送っていた。

東京地本は、今後も自衛隊を理解してもらえるよう魅力ある広報活動を実施していくとしている。



杜野まこさん



濱田准さん